

平成29年度

定期監査結果報告書

甲州市監査委員

甲 州 監 第 3 1 号

平成 2 9 年 1 2 月 2 0 日

甲 州 市 議 会
甲 州 市 長
甲 州 市 教 育 委 員 会
甲 州 市 選 挙 管 理 委 員 会
甲 州 市 公 平 委 員 会
甲 州 市 農 業 委 員 会
甲 州 市 固 定 資 産 評 価 審 査 委 員 会 様

甲 州 市 監 査 委 員 長 瀬 静 男

甲 州 市 監 査 委 員 中 村 勝 彦

平成 2 9 年 度 定 期 監 査 の 結 果 報 告 に つ い て

地 方 自 治 法 第 1 9 9 条 第 4 項 の 規 定 に 定 め る 監 査 を 実 施 し た の で 、 同 条 第 9 項 の 規 定 に よ り 、 そ の 結 果 を 報 告 し ま す 。

目 次

【定期監査】

1	監 査 の 範 囲	1
2	監 査 の 対 象	1
3	監 査 の 期 間	1
4	監 査 の 方 法	1
5	監 査 の 結 果	1
	1 一般会計	2
	2 国民健康保険事業特別会計	4
	3 診療所事業特別会計	6
	4 後期高齢者医療特別会計	7
	5 介護保険事業特別会計	8
	6 居宅介護予防支援事業特別会計	9
	7 訪問看護事業特別会計	10
	8 下水道事業特別会計	11
	9 簡易水道事業特別会計	12
	10 財産区特別会計	13
	11 水道事業会計	14
	12 勝沼ぶどうの丘事業会計	16
	13 勝沼病院事業会計	18
	14 基金	20

平成 29 年度 定期監査報告

1 監査の範囲

平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日までに執行された財務事務及び事務事業に関する事項

2 監査の対象

市長部局、会計課、議会事務局、教育委員会及び公営企業（水道、勝沼ぶどうの丘、勝沼病院）における一般会計、各特別会計及び公営企業会計の予算執行状況

3 監査の期間

平成 29 年 10 月 2 日から平成 29 年 11 月 24 日まで

4 監査の方法

監査はあらかじめ各課から提出された資料に基づいて財務関係諸帳簿の審査を行うとともに、事務事業執行状況及び予算執行状況について、各課長及び関係職員から説明を聴取し、さらに質問を加え、監査を実施した。

5 監査の結果

予算の執行状況は、昨年同期と比較して、一般会計、特別会計ともほぼ同じような状況で推移をしており、おおむね順調であると思われる。

監査の結果は次に述べるとおりであるが、監査時において気づいた簡易な事項については、その都度口頭で指摘し、改善を必要とする項目について指示を行った。

今後も経費の節減と創意工夫による予算執行に配慮しつつ、更なる市民福祉の向上に努められることを期待するものである。

(注) 本書において表示する比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

1 一般会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 市 税	4,024,192,000	3,967,512,216	2,510,035,537	62.4
2 地 方 譲 与 税	122,000,000	32,850,000	32,850,000	29.3
3 利 子 割 交 付 金	8,000,000	1,420,000	1,420,000	17.8
4 配 当 割 交 付 金	11,000,000	3,403,000	3,403,000	30.9
5 株式等譲渡所得割交付金	4,000,000	0	0	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	511,000,000	310,964,000	310,964,000	60.9
7 ゴルフ場利用税交付金	17,000,000	7,328,860	7,328,860	43.1
8 自動車取得税交付金	31,000,000	9,103,000	9,103,000	29.4
9 地 方 特 例 交 付 金	12,100,000	12,100,000	12,100,000	100.0
10 地 方 交 付 税	5,326,897,000	3,544,333,000	3,544,333,000	66.5
11 交通安全対策特別交付金	3,964,000	1,588,000	1,588,000	40.1
12 分担金及び負担金	356,500,000	157,015,994	139,098,554	39.0
13 使用料及び手数料	202,357,000	161,609,577	83,700,268	41.4
14 国 庫 支 出 金	1,769,831,190	650,252,436	650,165,436	36.7
15 県 支 出 金	1,016,991,500	94,574,696	85,314,696	8.4
16 財 産 収 入	15,512,000	10,167,237	2,896,035	18.7
17 寄 附 金	502,098,000	203,233,088	201,643,088	40.2
18 繰 入 金	963,609,000	1,790,518	1,220,718	0.1
19 繰 越 金	272,352,029	600,371,001	600,371,001	220.4
20 諸 収 入	219,635,000	46,153,916	23,975,986	10.9
21 市 債	1,665,500,000	0	0	0.0
歳 入 合 計	17,045,538,719	9,815,770,539	8,221,511,179	48.2

繰越額を含む予算現額 17,045,538,719 円に対し、収入済額は 8,221,511,179 円で、収入率は 48.2%であった。

主な歳入のうち、自主財源である市税の収納状況は、調定額に対する収納率は 63.3%であり、昨年同時期の 62.8%より若干上がっている。

市税の内訳では、市民税が 829,413,446 円、固定資産税が 1,451,213,790 円、軽自動車税が 129,087,986 円、市たばこ税が 89,642,852 円、入湯税 10,494,750 円等となっている。

その他の歳入では、科目により収入時期が年度末となるものもあるため、一部収入率が低い科目もみられるが、おおむね順調な収入状況である。

指摘事項・指導事項

- ・なし。

要望事項

・地方交付税や交付金の減少など、昨今の厳しい財政状況の中では、自主財源の確保が重要となってきており、その中でも市税や使用料等の滞納未収金の整理は急務である。市税については収納率が全国平均を上回るなど一定の成果が得られてはいるが、税以外の使用料等の滞納未収金については、目立った成果を確認することができない。未収金の収納活動については甲州市収納対策連絡会議等における今後の取り組みに期待をするとともに、厳しい財政状況の中ではあるが、中長期的な計画により健全な財政運営に向けて引き続き積極的な対応を願うものである。

歳出

(単位:円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(A-B)	執行率(B/A)
1 議 会 費	176,809,000	88,590,680	88,218,320	50.1
2 総 務 費	2,819,022,000	951,407,692	1,867,614,308	33.7
3 民 生 費	4,866,018,000	1,924,500,114	2,941,517,886	39.5
4 衛 生 費	1,399,261,879	373,506,099	1,025,755,780	26.7
5 労 働 費	29,352,000	19,443,543	9,908,457	66.2
6 農 林 水 産 業 費	921,233,000	159,883,108	761,349,892	17.4
7 商 工 費	389,222,000	244,347,051	144,874,949	62.8
8 土 木 費	1,940,831,040	350,053,429	1,590,777,611	18.0
9 消 防 費	748,446,000	432,777,470	315,668,530	57.8
10 教 育 費	1,509,901,800	610,523,530	899,378,270	40.4
11 公 債 費	2,217,370,000	555,540,902	1,661,829,098	25.1
12 予 備 費	28,072,000	0	28,072,000	0.0
歳 出 合 計	17,045,538,719	5,710,573,618	11,334,965,101	33.5

繰越額を含む予算現額 17,045,538,719 円のうち、支出額は 5,710,573,618 円で予算に対する執行率は 33.5%となっており、昨年同時期の 36.7%より 3.2%減少している。

6 農林水産費及び 8 款土木費は、他の科目と比較して執行率が低いが、測量設計、農繁期等が上半期となる関係で、工事執行が下半期に集中するためである。

指摘事項・指導事項

- ・なし。

要望事項

・各課においては全体的な予算状況を見極めながら、早期執行に心がけるとともに、引き続き経費節減に取り組み、市全体の歳出の予算執行が効率的かつ効果的に行えるよう努力されたい。

2 国民健康保険事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 国民健康保険税	1,032,042,000	1,129,400,059	443,016,426	42.9
2 分担金及び負担金	114,000	52,700	52,700	46.2
3 使用料及び手数料	800,000	104,950	104,950	13.1
4 国庫支出金	952,532,000	456,618,000	399,040,000	41.9
5 療養給付費交付金	81,844,000	17,972,000	17,972,000	22.0
6 前期高齢者交付金	1,212,669,000	505,731,092	505,731,092	41.7
7 県支出金	234,550,000	0	0	0.0
8 共同事業交付金	1,182,192,000	440,905,722	440,905,722	37.3
9 財産収入	104,000	92,560	92,560	89.0
10 繰入金	331,115,000	0	0	0.0
11 繰越金	3,919,000	27,789,644	27,789,644	709.1
12 諸収入	6,103,000	2,825,188	2,725,362	44.7
歳入合計	5,037,984,000	2,581,491,915	1,837,430,456	36.5

予算現額5,037,984,000円に対し、収入済額は1,837,430,456円で、収入率は36.5%であった。歳入の主なものは、前期高齢者交付金、共同事業交付金、国民健康保険税及び国庫支出金である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 総務費	66,798,000	26,911,173	39,886,827	40.3
2 保険給付費	2,914,229,000	1,136,708,453	1,777,520,547	39.0
3 後期高齢者支援金等	529,057,000	219,807,572	309,249,428	41.6
4 前期高齢者納付金等	1,924,000	816,313	1,107,687	42.4
5 老人保健拠出金	31,000	11,858	19,142	38.3
6 介護納付金	229,690,000	94,792,298	134,897,702	41.3
7 共同事業拠出金	1,171,596,000	467,849,595	703,746,405	39.9
8 保健事業費	79,804,000	10,687,522	69,116,478	13.4
9 諸支出金	9,053,000	5,254,364	3,798,636	58.0
10 公債費	15,802,000	0	15,802,000	0.0
11 予備費	20,000,000	0	20,000,000	0.0
歳出合計	5,037,984,000	1,962,839,148	3,075,144,852	39.0

予算現額5,037,984,000円に対し、支出額は3,075,144,852円で、執行率は39.0%であった。歳出の主なものは、保険給付費、共同事業拠出金及び後期高齢者支援金等である。

指摘事項・指導事項

- ・なし。

要望事項

・国民健康保険税収入については、事業の主な財源であるが、依然として収入未済額があり国保会計を圧迫する要因の1つとなっている。

納税相談や納付指導の実施など担当職員の努力もあるが、関係課とのより一層の連携や協力を図り、更なる収納率向上に努力をされたい。

・健康づくりに対する啓発や健康診断の受診率向上など予防事業の充実を図り、今後も一層の医療費の抑制への取り組みに努力されたい。

3 診療所事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位:円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 診療収入	28,037,000	1,379,977	1,379,977	4.9
2 使用料及び手数料	360,000	0	0	0.0
3 繰入金	24,406,000	0	0	0.0
4 繰越金	1,000	1,034,748	1,034,748	著増
5 諸収入	30,000	1	1	0.0
歳入合計	52,834,000	2,414,726	2,414,726	4.6

予算現額 52,834,000 円に対し、収入済額は 2,414,726 円で、収入率は 4.6%であった。

歳出

(単位:円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 総務費	29,225,000	9,477,784	19,747,216	32.4
2 医業費	17,660,000	2,106,641	15,553,359	11.9
3 施設管理費	1,177,000	169,566	1,007,434	14.4
4 公債費	2,772,000	1,028,054	1,743,946	37.1
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
歳出合計	52,834,000	12,782,045	40,051,955	24.2

予算現額 52,834,000 円に対し、支出額は 12,782,045 円で、執行率は 24.2%であった。
歳出の主なものは、総務費及び医業費である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・甲州市の地域医療の主力として、継続して在宅診療などへの取り組みを図られたい。

4 後期高齢者医療特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 後期高齢者医療保険料	308,635,000	301,709,519	134,378,651	43.5
2 使用料及び手数料	2,000	29,000	29,000	著増
3 繰 入 金	98,988,000	0	0	0.0
4 繰 越 金	1,000	2,039,480	2,039,480	著増
5 諸 収 入	2,104,000	514,800	514,800	24.5
歳 入 合 計	409,730,000	304,292,799	136,961,931	33.4

予算現額 409,730,000 円に対し、収入済額は 136,961,931 円で、収入率は 33.4%であった。
歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 総 務 費	2,443,000	985,185	1,457,815	40.3
2 後期高齢者医療広域連合納付金	404,686,000	136,500,000	268,186,000	33.7
3 諸 支 出 金	2,101,000	569,400	1,531,600	27.1
4 予 備 費	500,000	0	500,000	0.0
歳 出 合 計	409,730,000	138,054,585	271,675,415	33.7

予算現額 409,730,000 円に対し、支出額は 138,054,585 円で、執行率は 33.7%であった。
歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・保険料については、現年度分の収入未済額を生じさせないことや、滞納繰越分の解消に向けてその取り組みに努力されたい。

5 介護保険事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 保 険 料	704,199,000	729,685,900	349,126,900	49.6
2 使用料及び手数料	80,000	12,800	12,800	16.0
3 国 庫 支 出 金	882,007,000	438,431,960	438,413,960	49.7
4 支 払 基 金 交 付 金	944,238,000	410,542,000	410,542,000	43.5
5 県 支 出 金	476,137,000	235,254,000	235,254,000	49.4
6 財 産 収 入	22,000	21,290	21,290	96.8
7 繰 入 金	550,871,000	0	0	0.0
8 繰 越 金	201,000	45,873,466	45,873,466	著増
9 諸 収 入	6,000	350,135	350,135	著増
歳 入 合 計	3,557,761,000	1,860,171,551	1,479,612,551	41.6

繰越額を含む予算現額 3,557,761,000 円に対し、収入済額は 1,479,612,551 円で、収入率は 41.6%であった。

歳入の主なものは、保険料、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金及び繰入金である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 総 務 費	83,764,600	42,071,021	41,692,979	50.2
2 保 険 給 付 費	3,330,293,000	1,415,426,803	1,914,866,197	42.5
3 財政安定化基金拠出金	1,000	0	1,000	0.0
4 地 域 支 援 事 業 費	117,364,000	39,503,246	77,860,754	33.7
5 諸 支 出 金	16,446,000	937,290	15,508,710	5.7
6 公 債 費	7,000,000	0	7,000,000	0.0
7 予 備 費	2,893,000	0	2,893,000	0.0
歳 出 合 計	3,557,761,000	1,497,938,360	2,059,822,640	42.1

繰越額を含む予算現額 3,557,761,000 円に対し、支出額は 1,497,938,360 円で、執行率は 42.1%であった。

歳出の主なものは、保険給付費、地域支援事業費及び総務費である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・高齢者が自立して健康的な日常生活が過ごせるように、関係課と連携して介護予防の推進を図り、介護対象者の増加及び保険給付の抑制を図りたい。

・保険料については、現年度分の収納率に対し、滞納繰越分の収納率は低い水準にあるため、納付指導を的確に行い、収納率の向上に一層努められたい。

6 居宅介護予防支援事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 サービス事業収入	10,389,000	6,080,900	5,907,700	56.9
2 繰越金	1,000	4,410,713	4,410,713	著増
3 諸収入	1,000	0	0	0.0
歳入合計	10,391,000	10,491,613	10,318,413	99.3

予算現額 10,391,000 円に対し、収入済額は 10,318,413 円で、収入率は 99.3%であった。
歳入の主なものは、サービス事業収入及び繰越金である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 サービス事業費	10,291,000	4,711,500	5,579,500	45.8
2 予備費	100,000	0	100,000	0.0
歳出合計	10,391,000	4,711,500	5,679,500	45.3

予算現額 10,391,000 円に対し、支出額は 4,711,500 円で、執行率は 45.3%であった。
歳出の主なものは、サービス事業費である。

指摘事項・指導事項・要望事項

- ・なし。

7 訪問看護事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 サービス事業収入	37,496,000	14,274,742	13,904,836	37.1
2 財 産 収 入	44,000	26,222	26,222	59.6
3 繰 入 金	8,851,000	0	0	0.0
4 繰 越 金	1,000	453,391	453,391	著増
5 諸 収 入	246,000	71,148	71,148	28.9
歳 入 合 計	46,638,000	14,825,503	14,455,597	31.0

予算現額 46,638,000 円に対し、収入済額は 14,455,597 円で、収入率は 31.0%であった。
歳入の主なものは、サービス事業収入である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 サービス事業費	45,594,000	22,220,008	23,373,992	48.7
2 諸 支 出 金	44,000	26,222	17,778	59.6
3 予 備 費	1,000,000	0	1,000,000	0.0
歳 出 合 計	46,638,000	22,246,230	24,391,770	47.7

予算現額 46,638,000 円に対し、支出額は 22,246,230 円で、執行率は 47.7%であった。
歳出の主なものは、サービス事業費である。

指摘事項・指導事項・要望事項

・なし。

8 下水道事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 分担金及び負担金	18,228,000	15,010,520	12,407,760	68.1
2 使用料及び手数料	210,650,000	80,286,857	65,291,450	31.0
3 国庫支出金	49,979,000	0	0	0.0
4 繰入金	784,393,000	0	0	0.0
5 繰越金	390,000	390,870	390,870	100.2
6 諸収入	11,262,000	155,000	155,000	1.4
7 市債	367,200,000	0	0	0.0
歳入合計	1,442,102,000	95,843,247	78,245,080	5.4

予算現額1,442,102,000円に対し、収入済額は78,245,080円で、収入率は5.4%であった。
歳入の主なものは、使用料及び手数料である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 下水道費	422,578,000	90,686,310	331,891,690	21.5
2 浄化槽費	48,685,000	16,234,480	32,450,520	33.4
3 公債費	968,839,000	289,439,964	679,399,036	29.9
4 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
歳出合計	1,442,102,000	396,360,754	1,045,741,246	27.5

予算現額1,442,102,000円に対し、支出額は396,360,754円で、執行率は27.5%であった。
歳出の主なものは、下水道費及び公債費である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

- ・歳入では事業全体の収入率が5.4%と低く、その内容も、主な財源である繰入金や市債の依存度が高いので、綿密な計画のもと事業の効率化に取り組まれない。
- ・下水道受益者負担金及び下水道使用料の収入未済額については、計画的な徴収などによりその解消に努められたい。

9 簡易水道事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 分担金及び負担金	2,322,000	604,800	432,000	18.6
2 使用料及び手数料	241,580,000	48,406,081	83,108,297	34.4
3 国庫支出金	132,405,000	0	0	0.0
4 財産収入	1,000	0	0	0.0
5 繰入金	246,060,000	0	0	0.0
6 繰越金	1,428,000	1,882,137	1,882,137	131.8
7 諸収入	7,702,000	1,559,240	1,559,240	20.2
8 市債	375,200,000	0	0	0.0
歳入合計	1,006,698,000	52,452,258	86,981,674	8.6

予算現額 1,006,698,000 円に対し、収入済額は 86,981,674 円で、収入率は 8.6%であった。歳入の主なものは、使用料及び手数料並びに市債である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 簡易水道事業費	302,841,000	95,435,522	207,405,478	31.5
2 環境衛生施設整備費	526,550,000	67,570,100	458,979,900	12.8
3 公債費	174,307,000	84,170,488	90,136,512	48.3
4 予備費	3,000,000	0	3,000,000	0.0
歳出合計	1,006,698,000	247,176,110	759,521,890	24.6

予算現額 1,006,698,000 円に対し、支出額は 247,176,110 円で、執行率は 24.6%であった。歳出の主なものは、簡易水道事業費及び環境衛生施設整備費である。

指摘事項・指導事項

- ・なし。

要望事項

- ・今後とも計画的な事業執行により経費節減と経営の効率化に努力されたい。
- ・水道料金の収入未済額については、その解消に努められたい。

10 財産区特別会計

予算の執行状況

歳入・歳出

(単位：円)

会 計 名	予算現額(A)	収入済額(B)	支出額(C)	収支差引残高 (B-C)
大 藤 財 産 区	4,475,000	5,057,887	2,243,716	2,814,171
神 金 財 産 区	5,954,000	1,600,747	23,638	1,577,109
萩 原 山 財 産 区	16,600,000	11,881,573	9,952,952	1,928,621
竹 森 入 財 産 区	875,000	471,923	85,726	386,197
岩崎山保護財産区管理会	380,000	158,160	11,999	146,161

各財産区とも、順調な予算執行を行っている。

指摘事項・指導事項・要望事項

・なし。

11 水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出の状況

収益的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額(B)	内消費税額	収入率 (B/A)
水道事業収益	495,040,000	181,229,347	11,357,282	36.6
1 営業収益	420,963,000	154,082,679	11,332,627	36.6
2 営業外収益	74,064,000	27,146,668	24,655	36.7
3 特別利益	13,000	0	0	0.0

予算現額 495,040,000 円に対し、調定済額は 181,229,347 円で収入率は 36.6%であった。
水道事業収益のうち主なものは、営業収益の給水収益であり、営業外収益では長期前受金戻入及び雑収益である。

収益的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税額	執行率 (B/A)
水道事業費用	464,136,000	175,234,133	5,531,018	37.8
1 営業費用	432,650,000	164,398,315	5,530,674	38.0
2 営業外費用	26,276,000	10,831,170	0	41.2
3 特別損失	210,000	4,648	344	2.2
4 予備費	5,000,000	0	0	0.0

予算現額 464,136,000 円に対し、支出済額は 175,234,133 円で、執行率は 37.8%であった。
水道事業費用のうち主なものは、営業費用の減価償却費、原水及び浄水費、配水及び給水費並びに総係費であり、営業外費用では支払利息及び企業債取扱諸費である。

(2) 資本的収入及び支出の状況

資本的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額(B)	内消費税額	収入率 (B/A)
資 本 的 収 入	15,689,000	1,328,400	98,400	8.5
1 負 担 金	5,355,000	1,328,400	98,400	24.8
2 補 償 金	10,334,000	0	0	0.0

予算現額 15,689,000 円に対し、調定済額は 1,328,400 円で収入率は 8.5%であった。
資本的収入のうち主なものは、負担金である。

資本的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税額	執行率 (B/A)
資 本 的 支 出	286,874,000	38,842,355	363,671	13.5
1 建 設 改 良 費	218,620,000	4,924,778	363,671	2.3
2 企 業 債 償 還 金	68,254,000	33,917,577	0	49.7

予算現額 286,874,000 円に対し、支出済額は 38,842,355 円で、執行率は 13.5%であった。
資本的支出のうち主なものは、企業債償還金である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・水道料金の収入未済額の解消など給水収益の向上を図るとともに、引き続き経営の効率化と節減に努め各種施設整備に取り組まれない。

12 勝沼ぶどうの丘事業会計

(1) 収益的収入及び支出の状況

収益的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額(B)	内消費税 及び入湯税額	収入率 (B/A)
事業収益	1,062,125,000	531,432,186	44,110,459	50.0
1 営業収益	1,061,705,000	531,315,306	44,110,459	50.0
2 営業外収益	420,000	116,880	0	27.8

予算現額1,062,125,000円に対し、調定済額は531,432,186円で、収入率は50.0%であった。
事業収益のうち主なものは、営業収益の利用収益及び売店収益であり、営業外収益のうち主なものは受取利息及び配当金であった。

収益的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税 及び入湯税額	執行率 (B/A)
事業費用	1,033,498,000	436,454,943	32,364,139	42.2
1 営業費用	1,004,059,000	428,424,568	24,333,764	42.7
2 営業外費用	29,339,000	8,030,375	8,030,375	27.4
3 予備費	100,000	0	0	0.0

予算現額1,033,498,000円に対し、支出済額は436,454,943円で、執行率は42.2%であった。
事業費用のうち主なものは、営業費用の販売費及び施設経費であり、営業外費用では消費税及び入湯税である。

(2) 資本的収入及び支出の状況

資本的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額(B)	内消費税額	収入率 (B/A)
資 本 的 収 入	1,000	0	0	0.0
1 基金積立金利息	1,000	0	0	0.0

資本的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税額	執行率 (B/A)
資 本 的 支 出	25,122,000	0	0	0.0
1 建設改良費	25,121,000	0	0	0.0
2 基金積立金	1,000	0	0	0.0

予算現額 25,122,000 円に対し、9 月末現在未執行である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

- ・上半期について経営面では 88,090,958 円の純利益を得ているが、今後とも観光事業の拠点として市内外への情報発信に努められ各種の事業展開を行うなど経営努力をされたい。
- ・会計等事務については、ぶどうの丘で策定された事務改善報告書等を踏まえ、引き続き適切な事務処理に努められたい。

13 勝沼病院事業会計

(1) 収益的収入及び支出の状況

収益的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額(B)	内消費税額	収入率 (B/A)
病 院 事 業 収 益	24,591,000	187	0	0.0
1 医 業 外 収 益	24,591,000	187	0	0.0

予算現額 24,591,000 円に対し、調定済額は 187 円であった。
病院事業収益は医業外収益の受取利息及び配当金である。

収益的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税額	執行率 (B/A)
病 院 事 業 費 用	24,591,000	1,760,620	28,000	7.2
1 医 業 費 用	22,927,000	978,000	28,000	4.3
2 医 業 外 費 用	1,663,000	782,620	0	47.1
3 予 備 費	1,000	0	0	0.0

予算現額 24,591,000 円に対し、支出済額は 1,760,620 円で、執行率は 7.2%であった。
病院事業費用のうち主なものは、医業費用の賃借料であり、医業外費用では支払利息である。

(2) 資本的収入及び支出の状況

資本的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額(B)	内消費税額	収入率 (B/A)
資 本 的 収 入	5,498,000	4	0	0.0
1 一般会計負担金	5,496,000	0	0	0.0
2 企 業 債	0	0	0	—
3 基金積立金利息	2,000	4	0	0.2

予算現額 5,498,000 円に対し、調定済額は 4 円であった。
資本的収入は基金積立金利息である。

資本的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税額	執行率 (B/A)
資 本 的 支 出	10,714,000	5,344,856	0	49.9
1 企業債償還金	10,712,000	5,344,856	0	49.9
2 基金積立金	2,000	0	0	0.0

予算現額 10,714,000 円に対し、支出済額は 5,344,856 円で、執行率は 49.9%であった。
資本的支出のうち主なものは、企業債償還金の元金償還金である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・指定管理者である財団法人山梨厚生会とより良い連携を図りながら、地域に根ざした医療機関としての役割を果たすよう努められたい。

14 基金

(単位：円)

基金名	年度当初額	9月30日現在高	増減
財政調整基金	997,974,904	998,100,614	125,710
減債基金	150,868,681	150,903,811	35,130
公共施設整備基金	411,961,249	412,172,025	210,776
社会福祉基金	489,800,789	489,800,789	0
家庭小口資金貸付基金	15,826,570	15,671,570	△155,000
中山間農村地域活性化基金	20,870,570	20,870,570	0
土地開発基金	341,860,957	341,863,680	2,723
介護保険給付費支払準備基金	44,062,312	65,548,602	21,486,290
国民健康保険財政調整基金	162,617,828	112,710,388	△49,907,440
訪問看護財政調整基金	106,706,699	100,032,921	△6,673,778
合併振興基金	1,148,825,356	1,066,625,356	△82,200,000
ふるさと支援基金	1,012,973,625	612,981,689	△399,991,936
合計	4,904,349,540	4,387,282,015	△517,067,525

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・今後とも引き続き、安全性の確保と効率的な運用に十分配慮されて運用されたい。